



信州未来共創戦略に基づく人口減少への対応

◆ 人口増加を前提としない成熟社会への転換を図るため、「信州未来共創戦略」に基づき、これまでの当たり前を見直し、県として具体的な行動（＝アクション）を起こします。

※R7.11月補正、R7.1月補正を含む

309億910万6千円

①若者・女性から選ばれる寛容な社会づくり

《若者の社会参画の促進》

- 異業種交流イベント等の開催により結婚を望む方への支援を推進
- ◎ユースワーカー交流会等により、ユースセンターの設置拡大を支援

《性別による固定的役割分担の解消》

- ◎「ジェンダー主流化」の考え方をあらゆる施策・県組織へ浸透

《共育でも当たり前な働き方への改革》

- 大学生等を対象に、子育て家庭内での子育て体験を実施

《子ども・子育てを社会で支える》

- 県立特別支援学校小学部・中学部すべての児童生徒の給食費を無償化

《多様性を認め合い、人権を尊重》

- ・「長野県人権尊重の社会づくり条例（仮称）」案の策定に向けて準備

◎…新規事業、○…拡充事業、・…継続事業

②信州の強みを生かした移住・関係人口の増加

- ◎“共感”を軸にターゲットの行動変容を促す移住プロモーションへ刷新
- ◎「関係人口メンバーシップ制度（仮称）」を構築
- 木曽谷・伊那谷フォレストバレーを通じ、交流人口を創出

③安心・便利で持続可能な生活圏の整備促進

- ・「県土のグランドデザイン」の策定方針を整理し、地域課題の可視化に向けデータを収集・分析
- ◎広域路線維持・確保のため「信州型広域バス路線支援制度」により支援

《一人ひとりに合った学びを実現》

- ◎小学校1年生を25人規模学級に編制
- ・「ウェルビーイング実践校TOCOTON（トコトン）」の取組を支援

④変革期を乗り越える経営等の革新

《付加価値労働生産性の向上》

- ◎売上高10億円超を目指す企業の成長を総合的な経営支援により後押し
- 航空・宇宙機器産業の成長を支援
- ◎持続可能な農業の実現に向け、「地域計画」の充実・実行を伴走支援

《多様な人材の労働参加と省力化》

- ◎経営者フォーラムの開催、企業と女性役員候補のマッチング、女性管理職候補の育成などを行う
- W.E.L.L.NAGANO（仮称）を展開
- ◎学生の自己PRに基づく企業からのスカウト型マッチング等を実施
- 新たに設置する「地域サポーター」により企業のデジタル化を一貫支援

《様々な主体の共創》

- 行政体制の最適化に向け、市町村と県の連携のあり方を検討・実装
- スポーツを通じた地域課題解決を図る共創プラットフォーム構築を支援